

授業科目 精神障害作業療法学演習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
長谷川 利 夫		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 精神障害の疾患あるいは障害の特性について理解し、それぞれの疾患・障害に対する作業療法について学ぶ					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 精神障害を対象にする作業療法の形態について述べることができる。 2. 精神障害領域の作業療法の実施領域について説明することができる。 3. 精神障害の回復過程に沿った作業療法の役割りと他職種等との連携について学ぶことができる。 4. 作業療法の対象となる精神障害の疾患・障害特性、並びに疾患・障害特性に応じた作業療法の目的・プログラムが述べられる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	作業療法実施領域と施設			1	講義（長谷川）
2	作業療法の形態（集団作業療法）			2	講義、演習（長谷川）
3	作業療法の形態（集団作業療法）			3.4	講義、演習（長谷川）
4	作業療法の形態（個人作業療法）			3.4	講義、演習（長谷川）
5	作業療法の形態（個人作業療法）			3.4	講義、演習（長谷川）
6	回復過程に沿った作業療法			3.4	講義、演習（長谷川）
7	統合失調症に伴う障害と作業療法			3.4	講義、演習（長谷川）
8	統合失調症に伴う障害と作業療法			3.4	講義、演習（長谷川）
9	躁鬱病に伴う障害と作業療法			3.4	講義、演習（長谷川）
10	神経症に伴う障害と作業療法			3.4	講義、演習（長谷川）
11	境界性人格障害に伴う障害と作業療法			3.4	講義、演習（長谷川）
12	アルコール依存症に伴う障害と作業療法			5	講義、演習（長谷川）
13	児童の精神障害と作業療法			5	講義、演習（長谷川）
14	老年期の精神障害と作業療法			5	講義、演習（長谷川）
15	これからの作業療法			5	講義（長谷川）
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		適宜プリント配布			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席、演習参加態度、レポート、試験等から総合的に判断する。					